

令和5年度

日本語学習支援と文化理解を学ぶ講座 in 千葉県

—多文化共生のまちづくりをめざして—

地域の日本語教室ってどんなところだろう？参加してみたいけど、専門知識が必要なのかな？千葉県には日本語教室が約200教室あります。教室での支援活動を始めてみたい方、まずはこの講座を受けて第一歩を踏み出してみませんか？

オンライン
開催
(Zoom)

受講料
無料

日時

第1回 11月 2日 (木)
第2回 11月 10日 (金)
第3回 11月 15日 (水)
第4回 11月 22日 (水)
第5回 11月 29日 (水)
13:00~15:30 (全5回)

※第1回と第2回は曜日が異なりますのでご注意ください。

対象

18歳以上の千葉県民で、地域日本語学習支援に興味があり、これから始める方で、**5回全ての講座に出席できる方**。

※当センターが過去実施した「日本語学習支援と文化理解を学ぶ講座」を受講した方は応募できません。

定員

30名

(先着順。ただし、日本語ボランティア未経験の方を優先いたします。)

申込

右の二次元コードか下記URLから応募フォームにアクセスし、オンラインでお申し込みください。

【応募フォームURL】

<https://req.qubo.jp/mcic/form/R5nihongokiso2>



締切

10月20日 (金) 午前10時必着

※定員になり次第締め切ります

内容・講師については裏面をご覧ください。





【主催】千葉県 (公益財団法人 ちば国際コンベンションビューロー 受託)

【お問い合わせ】(公財) ちば国際コンベンションビューロー 千葉県国際交流センター

Tel : 043-297-0245 Mail : nihongo@ccb.or.jp

講座では、毎回グループワークを行います。必ず、声を出せる環境でご参加ください。

<講座スケジュール>

日程	テーマ	内容	担当講師
第1回 11月2日(木) 13:00~15:30	『学習者の背景を理解し、「文化」とは何か、「多文化共生」とは何かを考える』	地域日本語教室が対象とする学習者についての理解を深め、「多文化共生社会」においてそれぞれ「文化」をどう捉えていけばよいのか、みなで考えます。	 徳永 あかね (神田外語大学外国語学部准教授)
第2回 11月10日(金) 13:00~15:30	『やさしい日本語でやさしい交流・コミュニケーションの基礎を学ぶ』	やさしい日本語とは何でしょうか。日本語でのやりとり慣れていない外国人との相互理解には工夫が必要です。コミュニケーションの大切なポイントを一緒に学んでいきましょう。	 高橋 道恵 (千葉科学大学日本語教育非常勤講師)
第3回 11月15日(水) 13:00~15:30	『市民活動としての学習支援の方法』	ひとりひとりの居場所のある地域社会をめざすために、学習支援の具体的な方法を皆さんと一緒に考えていきます。事例やグループワークを通し、地域の日本語学習における「対話」のポイントを学びます。	 吉田 曜子 (国際協力日本語学院日本語教師)
第4回 11月22日(水) 13:00~15:30	『学びの場(地域日本語教室)の実践』	多様な人々が集まる「学びの場」だからこそ可能になる活動とはどんなものがあるのでしょうか。相互理解を目指した教室活動の実践やグループワークを通して、「対等な立場として学習者の学びに伴走するにはどうしたらいいか」を学びます。	 油川 美和 (千葉県地域日本語教育コーディネーター)
第5回 11月29日(水) 13:00~15:30	『外国につながる子どもの現状と課題』	地域に住む外国につながる子どもたちと、その保護者の現状と課題を学びながら、支援するために必要なことを皆で考えてみませんか。これまでの学びを振り返りながら、みなさんが「多文化共生のまちづくり」にどう関わっていけるかを考え、次への一步を目指します。	 吉野 文 (千葉大学大学院国際学術研究院教授)



《注意事項》

本講座は文化庁の「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」を活用して実施するものです。講座では、カリキュラム改善を目的として講座の様子を録音、録画する場合があります。また、講座内でのアンケートや振り返りデータを使わせていただきます。データは個人が特定されない形で文化庁に提出するとともに、研究会等での発表に使用する可能性があります。ご理解、ご了承のうえ、ご参加くださいますようお願い申し上げます。